

KODOMOMIRAI



KIKO



KIKO



KODOMOMIRAI



一般社団法人

延岡 KODOMOMIRAI
こども未来
創造機構



①はじめに

こんにちは。延岡こども未来創造機構です。
私たちは、延岡市が設立した一般社団法人。
ぜひ「キコウ」と呼んでください。

多様化が進む現代、私たちを取り巻く環境は日々変化しています。答えのない問題に直面する、そんなこともあるでしょう。そんな現代だからこそ、求められる教育があると考えています。

そんな中で、学校・家庭・地域と協力し社会全体で子どもたちの育ちを支えていくために、新たに第4の存在として生まれた「キコウ」。

「生きる力」を育み、おとなも子どもも一緒にワクワクしながら本気になれるきっかけづくりを行っていくとともに、子どもたちにとっての「学びの伴走者」でありたいと、私たちは思っています。



②今はどんな時代？

答えの決まっていない問題に直面することが多い

自ら考え、自ら行動し、他人とともに協調する豊かな人間力を持ちながら、よりよく解決していく、「生きる力」を育むことが肝要

環境やライフステージに応じて常に学び続け、必要なスキルをアップデートしていくことが肝要

その基礎となる力「社会人基礎力」を養っていくことが、新たな社会を形成する力として求められている

不便や困難の中で生まれる「なぜ？」に気づき、解決をしていく機会を大人も子どもも失ってきている

子どもたちが本来持つ創造性や突出した能力に気づき、「未来への意欲を育む環境」が求められている

家庭においては共働きやひとり親家庭が増えて忙しく、学校においては学校ばかりに学びを求められ、地域においては担い手が不足し「子どもに関わる大人のゆとり」がなくなってきている



③なにが必要？

- ・「生きる力」を育む多様な学びと一人でも多くの子どもたちが繋がること
- ・子どもの成長を家庭や学校が抱え込まず、社会全体で支える仕組み
- ・多様な学びを学校・家庭・地域が共創していく関係づくり

④キコウができた！

必要な取組みを推進するため、あらたに第4の存在として、2022年3月29日に「一般社団法人 延岡こども未来創造機構」を設立しました。





⑤Philosophy- 理念

これからの未来を生きる子どもたちが
本来持っている創造性やワクワクする感覚を輝かし、
自分らしく生きられる社会の実現

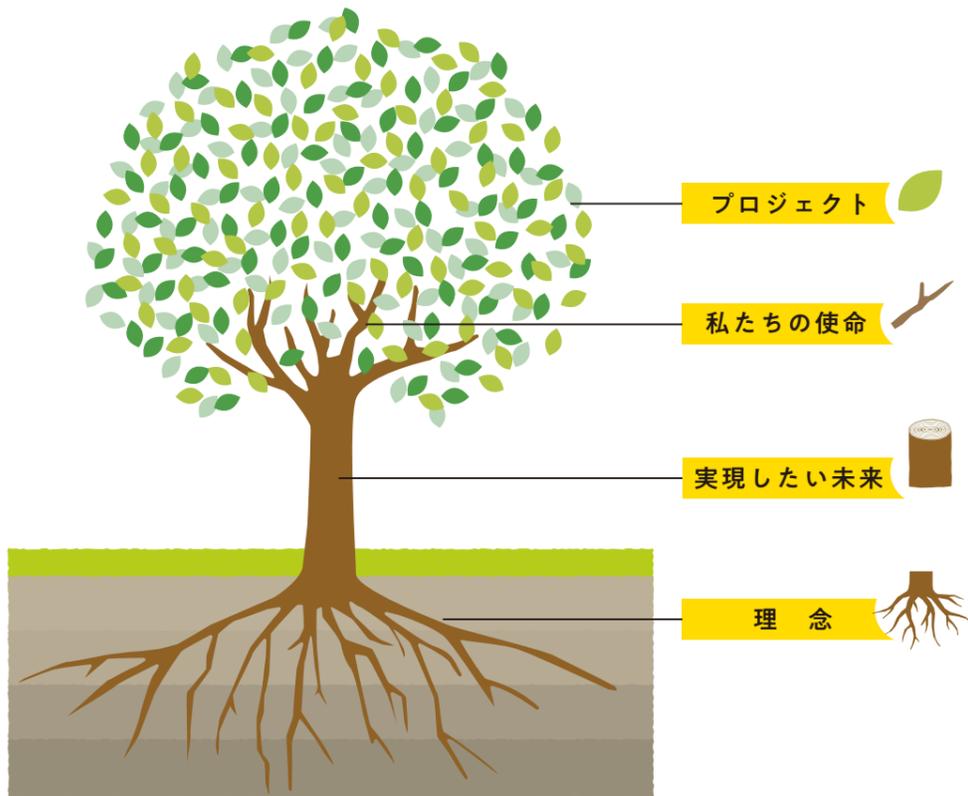
⑥Vision- 実現したい未来

どんな時代でもよりよい生活や社会になるよう、
自らデザインし問題を解決できる「生きる力」を育む



- 葉** まだ見ぬ世界を広げていく多様なプロジェクト
- 枝** あらゆる可能性を信じ、ひとつひとつ着実に伸ばしていく私たちの使命
- 幹** 実現したい未来
- 根** 地域と共感し、地域とともに子どもたちを育みたい想い、理念

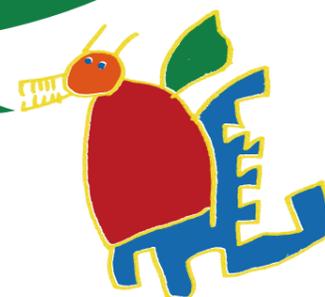
機構の目指す姿を豊かな土壌に根を張る木のように描いています。



子どもたちは、赤ちゃんの時から家族やグループのなかで、「遊び」を通じて多くのことに気づき、自分を知り、仕組みを学んでいきます。「遊び」の中では、友達とぶつかることも。それでも友達を理解し、人間関係を学び、また「遊び」を共創する。遊びの中で子どもたちの人間力も育まれています。

「なんで?」、「これって面白いかも!」

毎日が発見と笑顔と挑戦であふれていたら、どんなに楽しいのでしょうか。「子どもたちには、本来持つ創造性やワクワクする感覚を輝かし、自分らしく生きてほしい。」こうした想いを地域と共感し、延岡ならではの環境を活かした学びの場を創っていきたくと考えています。



KODOMOMIRAI KIKO
延岡こども未来創造機構
関わる方々からのメッセージ

(一社) 延岡こども未来創造機構
理事 兼 運営委員会委員長
東京学芸大学 教授
鉄矢悦朗氏

苗木を早く成長させたいと思って、伸びると引張っても大きくなりません。良い土と水とそして光が育てるのです。そして、すぐには大きくなりません。時間も必要なのです。

延岡こども未来創造機構の準備段階から伴走させていただき、2021年度末に本格スタートを迎え、2022年度も走りながら試行錯誤をしてきました。まだまだ苗木の状態です。適した土はどんなものが良いのか、水やりは過ぎていないか。お天道様は十分か。焦らず皆さんと共育していきたいと思えます。

親子をつなぐ学びのスペースリレイト 代表
中桐 万里子氏

キラキラ太陽が大好きなひまわり。凛とつめたい空気が大好きなツバキ。可能性のかたまりでもあるそれぞれの種を、「一流」に育もうとする「共創」の営み。他人との比較で「一番」を目指させてきた「競争」教育はもう古い! この場所で、みなさんとイマドキでカラフルな育み合いができることを楽しみにしています。

海士町・人づくり特命担当
ひと・学び・還流づくりジェネレーター
豊田 庄吾氏

既成概念にとらわれず、常に形を変えながら(学校・地域・家庭をつないだり、混ぜたりしながら)、「キコウ」が子どもたちにとって「寛容」で「?」や「わくわく」にあふれた「創造的」な学びの場になっていくことを期待しています。

経済産業省資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課長
(前 産業政策局 産業人材課長)
能村 幸輝氏

社会や地域の課題を発見し、その解決に向けて様々な手段を活用し仲間と共に行動できる、こうした人材がこれからの日本を牽引すると思います。延岡ならではの「経験」を活かし、デジタル技術も活用する中で、「教育」そのものがアップデートされていく。そのプロセスの中で、子ども達の未来、日本の未来もかわっていきます。本機構での取組が、延岡、そして日本全体の未来に向けた、大きな一歩になることを心から期待しています。

慶應義塾大学大学院
政策メディア研究科 特任准教授
梅嶋 真樹氏

市内に住み学ぶ子ども達に国内外の専門家と連携した最先端の新しい学びや高い質の学びを提供する場、そうした学びを指導する先生を育成する場に育ってほしいと願います。実現のために「論理コミュニケーション」を道具に行動します。

東京学芸大学 教育インキュベーションセンター教授
金子 嘉宏氏

子ども達は学校で学ぶ以外にも、毎日、毎時間、毎秒、学んでいます。休みの日にカブトムシを3時間ずっと見ていたとしたら、そこにはとても大きな学びがあります。ただ、そのような主体的な学びは大人の目に触れることもなく埋もれていってしまいます。延岡こども未来創造機構が子ども達の主体的で自然な学びを一つ一つ丁寧に拾い上げ、深めていけるよう支援していくことを期待しています。

株式会社リクルートフェロー
大久保 幸夫氏

延岡こども未来創造機構の理念にとっても共感しています。子どもたち一人ひとりには異なる個性があります。それを周囲から認められて受け入れられるとき、生き生きと力強く人生を歩んでいくことができるのだと思っています。そのため、しくみづくりやきっかけづくりを機構が推進してゆくことを期待しています。

共育
キョウイク/トモイク

【名】
【動詞】スル
共に育んでいくこと、
造語。

コドモミライ、

どんな未来？

「未来への挑戦」って結構難しい。

そもそも「未来」ってなんだ？

その答えは、ひとそれぞれかもしれませんが、「挑戦」のその先に、ワクワクする未来があると私たちは信じています。

延岡こども未来創造機構は、ひとりでも多くの子どもとともに、「未来」を見つける旅に出たいと考えています。「未来」を見つける旅の中で、どんな時代でもよりよい社会になるよう自らデザインし、自ら問題を解決できる「生きる力」を育てていきます。そのために、様々な地域の人々や多様なアイデアが地域の資源と共に混ざり合い、時代のニーズに合った学びを共創していくことが重要です。

まだまだ知らない「未来」を探しながら、子どもも大人も一緒に教え・育みあって挑戦をしていく。そして、まだ見ぬ世界にワクワクと飛び込んでいく。

子どもの数だけ答えがあるかもしれない。

答えの数だけ未来があるかもしれない。

未来への挑戦を、

延岡こども未来創造機構が始めます。

共育ワークショップ

大人も子ども共に学び合い「遊びは最高の学び」を体験できるような活動を行います。オリジナル絵本作り・新聞紙遊び・巨大絵など、様々な形で「共創（きょうそう）力」を高めていきます。



グローバルコミュニケーション

実際に世界の前に立っている人たちから、異文化理解やコミュニケーションの大切さなどを学ぶとともに英語を含めた言語力の重要性等に気づく機会を創ります。



各種講演会

教育関係の有識者などをお招きして、延岡の子どものために大人ができることを一緒に模索していきます。大人も学びを楽しむことができる土壌づくりに取り組みます。



JFA こころのプロジェクト 夢の教室

Jリーガーやプロ野球選手などさまざまなスポーツの様々な競技の現役、OB・OGのスポーツ選手などを「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つことの素晴らしさ、その夢に向かって努力することの大切さ」を学びます。



学生インターンシップ

「東京学芸大学」と「延岡市」及び「延岡市教育委員会」の相互の教育・子育てに関する連携協定の取組みの一つとして、東京学芸大学の学生が延岡市内の学校でボランティア活動を行います。また、学生がワークショップを企画し実施することで、互いに学び合える場を創出します。



論理コミュニケーション

慶應義塾大学SFC研究所と連携し、自分の考えを相手にわかるように伝えることのできる論述力や相手の言いたいことを整理理解する力を育むプログラム。大学入試にも、就職にも必要な社会人基礎力を育むことになります。



イングリッシュキャンプ

外国青年と制作活動や体験活動などを行い、日常生活に活かせるネイティブの英語に触れる機会をつくります。

※今後さらに「英語を学ぶことでいかに世界がひろがるか」を伝え、主体的に英語を勉強しようという意欲を育むプロジェクトも行う予定です。



プレパーク

新割りをしてみたり、のこぎりで木を切ってみたり…子どもたちが自由にのびのびと、やってみることに挑戦できる、「遊びの達人」になれる環境づくりを行います。



STEAMワークショップ

ものづくりのまち延岡ならではの学びとして、子どもたちが楽しみながら試行錯誤を繰り返して課題解決に向けて主体的に学びに向かう力、工夫する力、失敗しても諦めない力などを育てます。現在東京学芸大こども未来研究所と連携しながら、グラフの読み方などのデータサイエンスのたのしい学びなども進めています。

STEAMとはScience(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念です。



自主事業など

非認知能力を育むワークショップなどを開催するとともに、様々な教育などに関する課題を解決するための試行的な取り組みを行うなど、延岡市ならではの人間力を育むための自主事業を展開していきます。保育士向けSTEAM教育体験研修会など、大人に向けての学びの機会も創出していきます。



お仕事探求

実際に働いている人たちの声を聴き、探究的な学習に取り組むことで、自分の「こうありたい」という姿を描き、よりよく課題を解決する意欲を育みます。



自然体験活動

延岡ならではの自然環境を体験することに加え、自ら魅力や課題などを見つけて考える探究的な学習などを行います。他者と共感の中で、自地域愛を育みます。



⑦Mission- 具体的な取り組み

MISSION1 遊びと学びプロジェクト

子どもたちの意欲を引き出し、伴走しながら子どもたちが安心してのびのびとチャレンジできる学びの場を創出する

MISSION2 共育プロジェクト

大人も子どもも学び合い、社会全体で子どもたちの学びを担保する仕組みを創出する

MISSION3 体験プロジェクト

延岡ならではの魅力や環境を活かした体験の機会を地域と共創する

一般社団法人

延岡 KODOMOMIRAI こども未来 創造機構

一般社団法人 延岡こども未来創造機構
〒882-0054 宮崎県延岡市栄町5番地1
TEL 080-2149-6563





一般社団法人 延岡子ども未来創造機構

〒882-0054 宮崎県延岡市栄町5番地1

TEL 080-2149-6563



公式 HP



LINE



Instagram